

# 第36回 宇宙環境利用シンポジウム プログラム

オンライン

2022年1月18日(火)～19日(水)

## 第1日目 【1月18日(火)】

開会挨拶 基調講演

13:00～13:40

P-01 宇宙実験たんぽぽの成果およびアストロバイオロジー今後の課題  
山岸明彦(東京薬科大学名誉教授)

一般セッション(1)

【座長：橋本博文】

13:40～14:40

G-01 ポストたんぽぽ計画の進捗状況

○三田肇(福岡工業大学)、矢野創、左近樹、小林憲正、癸生川陽子、横谷香織、中川和道、杉本学、Tetyana Milojevic、山岸明彦、横堀伸一、別所義隆、加藤浩、阿部智子、遠藤いずみ、木村駿太、オン碧、大森正之、藤田知道、鈴木利貞、浅野真希、奥平恭子、今井栄一

G-02 たんぽぽ1および2における陸棲藍藻宇宙曝露実験

○横谷香織(筑波大学)、木村駿太、オン碧、鴛田未来、加藤浩、阿部智子、橋本博文、園池公毅、大森正之、山岸明彦、三田肇、たんぽぽ1,2メンバー

G-03 培養機能付き微生物曝露装置の開発

○橋本博文(宇宙航空研究開発機構)、横堀伸一

G-04 「スペース・モス」の活動報告：ISSにおける宇宙微小重力実験から地上過重力実験まで

○藤田知道(北海道大学)、久米篤、蒲池浩之、半場祐子、日渡祐二、唐原一郎、小野田雄介、横井真希、ヴィアチェスラヴォヴァ・アリサ、山下祐輝、バイヤー・マルセル、安田柚里、中澤誠、新濱梨奈、佐々木智哉、達かおる、平山桃菜、笠原春夫、鈴木智美、嶋津徹、鎌田源司、矢野幸子

— 休憩 —

F-01 宇宙における植物の生活環

—根系の三次元形態の評価を通じた低重力植物栽培条件の最適化を目指して—

○唐原一郎（富山大学）、山浦遼平、小出みなみ、田中蓮、蒲池浩之、山内大輔、峰雪芳宣、玉置大介、星野真人、上杉健太郎、中井勇介、中野明正、西内巧、高尾泰昌、田浦太志、嶋津徹、笠原春夫、鎌田源司、鈴木智美、小野田雄介、日渡祐二、半場祐子、久米篤、藤田知道

F-02 作物の重力応答

○曾我康一（大阪市立大学）、渡部優、東山優花、宮崎友規、佐伯悠人、中村元哉、有馬大晴、若林和幸、玉置大介、藤井伸治、稲富裕光

F-03 植物の微小重力下における太陽光影響評価に向けた

ISS 曝露部搭載型植物培養器（Plant-BioCube Unit）の開発に関する進捗状況 2021

○日出間純（東北大学）、愿山（岡本）郁、栞原聡文、笠羽康正、久米篤、永井大樹、橋本博文、稲富裕光

F-04 遺伝子改変マウスを用いた宇宙放射線の影響の解析

吉田佳世、小久保年章、○森田隆（大阪市立大学）、稲富裕光

F-05 宇宙放射線と重力環境変化による複合影響研究 2021 年報

○高橋昭久（群馬大学）、鈴木健之、鶴岡千鶴、森岡孝満、武島嗣英、吉田由香里、中村麻子、池田裕子、秦恵、永松愛子、大平充宣、稲富裕光、柿沼志津子

# 第36回 宇宙環境利用シンポジウム プログラム

オンライン

2022年1月18日(火)～19日(水)

## 第2日目 【1月19日(水)】

一般セッション(2)

【座長：石川毅彦】

10:00～11:45

- G-05 複数液滴の冷炎ダイナミクスに関する観測ロケット実験“PHOENIX-2”進捗報告  
○菅沼祐介(日本大学)、齊藤允教、野村浩司、田辺光昭、高橋晶世、高橋賢一、森上修、三上真人、後藤芳正、山村宜之、山本信、野倉正樹、Eigenbrod・Christian、菊池政雄、嶋田徹、稲富裕光
- G-06 ISS 搭載静電浮遊炉の状況報告 2021  
○石川毅彦(宇宙航空研究開発機構)、伊藤剛、織田裕久、小山千尋、下西里奈
- G-07 ISS 搭載 ELF による酸化物融体熱物性の温度依存性  
○石渡涼(学習院大学)、清水颯希、山田真琴、井上涼太、田口正二郎、渡邊匡人、石川毅彦、織田裕久、小山千尋、伊藤剛
- G-08 「きぼう」での静電浮遊炉を利用し非平衡溶融合金の熱物性計測に向けて  
○小島秀和(同志社大学)、小澤俊平、清宮優作、殿岡和己、伊藤輝、杉岡健一、白鳥英、下西里奈、小山千尋、織田裕久、石川毅彦
- G-09 浮遊液滴非線形ダイナミクス  
阿部豊、松本聡、西成活裕、谷田桜子、渡辺正、北畑裕之、小谷野由紀、○長谷川浩司(工学院大学)、金子暁子、本田恒太、相子珠希
- G-10 国産能動型宇宙放射線線量計の開発状況と将来展望  
○寺沢和洋(慶應義塾大学/宇宙航空研究開発機構)、佐々木慎一、岸本祐二、高橋一智、永松愛子、身内賢太郎、小平聡
- G-11 溶融塩電解技術と *in-situ* Resources Utilization 研究  
後藤琢也、○鈴木祐太(同志社大学)、福中康博

— 昼 食 —

- S-01 惑星保護の国際的な枠組みと日本国政府や JAXA の対応について  
○吉原徹（宇宙航空研究開発機構）
- S-02 JAXA における惑星保護の中長期計画概要と活動状況  
○藤田和央（宇宙航空研究開発機構）、鈴木志野、木村駿太、小澤宇志、仁田工美、堀健彦、市丸慎一郎、吉原徹
- S-03 JAXA におけるキュレーションや将来の惑星保護に係るバイオーバーデンの研究開発状況と NASA における取組み  
○鈴木志野（宇宙航空研究開発機構）
- S-04 将来のライフサイエンス探査等に向けた微生物・惑星保護研究の構想と検討状況  
○木村駿太（宇宙航空研究開発機構）

— 休憩 —

- S-05 火星サンプルリターンに向けた国際的な惑星保護の検討状況  
○鈴木庸平（東京大学）
- S-06 DESTINY+ における惑星保護に係る処置状況  
○荒井朋子（千葉工業大学）、今村裕志、尾崎直哉、山本孝行、高島健
- S-07 OMOTENASHI における惑星保護に係る処置状況  
○橋本樹明（宇宙航空研究開発機構）
- S-08 MMX の衝突滅菌に係る研究開発活動状況  
○小澤宇志（宇宙航空研究開発機構）、野村哲史、宮島琴音、仁田工美、滝沢直美、中村顕、山岸明彦、菅原春菜、藤田和央
- S-09 ロケット上段の保護される太陽系天体への衝突確率解析  
○菊池隼仁（宇宙航空研究開発機構）、廣瀬史子、尾川順子、仁田工美、藤田和央

閉会挨拶